

アストロノミック・スヴラン

F.P.ジュルヌは、18の機能と複雑機構を搭載し天空に思いをはせるために作られた

2019年11月9日、オンリーウォッチで高い評価と大きな成功を収めた後、F.P.ジュルヌはオークションに出品されたプロトタイプとは異なる製品版の「アストロノミック・スヴラン」を発表します。トゥールビヨン、ミニッツリピーター機構が搭載されたこのステンレススチール製の複雑時計は、忙しい日々の中で忘れ去られてしまうことが多い特別な時間に星を愛でて天空に思いをはせることで、地球上における自分の位置を探し当てる事にもつながります。

それは、古来より星を眺めることがごく自然に行われていた時代より続くもので、星を観測するための装置と同様に、「アストロノミック・スヴラン」は、天空を見つめ1つの窓を開ける代わりにその天体の動きと時をあらゆる角度から映し出してくれます。

このプロジェクトの原点は、紙用のゴミ箱に捨てられていた一人の男の子のデザイン画から始まります。それは、フランソワ・ポール・ジュルヌの息子であるシャルルが15年程前に描いた1枚の絵でした。その青年の手で自由な発想と独自の視点により描かれたデッサンはフランソワ・ポール・ジュルヌにアイデアを与えました。

シャルル自身は時計師ではないのでこのアイデアを実現する事は出来ませんでした。それをジュルヌが形にする為、試行錯誤を重ね彼の理想の作品への追求は6年もの歳月をかけて行われたのです。当初は自動巻きにする案や搭載する複雑機構についても熟慮を重ねましたが、最終的には当初の案は白紙に戻ってしまいました。その後、より多くの機構が搭載可能な、手巻きのキャリバーがこの時計に採用されることになりました。そうすることで僅かな巻上げも十分なエネルギーに変えてすべての機構に供給されることを実証しました。

また最終的には、シャルルが描いたデザイン画にあった文字盤上に太陽の動きを表すカーブを描いた窓が登場することになったのです。

この新作の開発には、フランソワ・ポール・ジュルヌの過去の作品がミューズの役割を果たすことになりました。それは、科学的オブジェのコレクターのため1987年に製作された、惑星の動きを表す懐中時計でした。このユニークピースは、平均太陽時と恒星時、均時差、フルカレンダー、パワーリザーブを表示するトゥールビヨンでした。このモデルは非常に完成度の高いものでした。

しかし、過去の作品にとらわれるあまり新たな挑戦を行わないのはナンセンスです。

「アストロノミック・スヴラン」は、時代に即した現代的な機構やデザインと共にF.P.ジュルヌらしい強い個性をも持ち合わせていなければなりません。そこで、2つの香箱から安定したトルクを送り出し、完璧な等時性を保証するルモントワール機構付トゥールビヨンを搭載したのです。

このように、「アストロノミック・スヴラン」の18Kローズゴールド製のムーブメントは、今までにない天文時計の新たな扉を開きました。そして、従来通り美しい装飾が施されています。

ホワイトゴールド製文字盤と同様、インダイヤルはクルー・ド・パリのギョーシェ仕上げとNASAが所有する写真を複写した写実的な月を美しく際立たせています。3時位置には、ブルーの針で第二時間帯を表示する平均太陽時（または常用時）が表示されます。9時位置には星の観測を可能にする恒星時、その横には、平均太陽時の秒がディスクで表示されます。文字盤中央には分針、その下には最大約40時間のパワーリザーブ表示があります。これらの表示を司るように、文字盤上部にはブルーのフレーム装飾により、日の出と日の入りを読み取る事が出来ます。またメタルのカーテンにより日の長さを表示・調整されます。時計の裏側には、均時差表示、星座で囲まれた年次カレンダーが搭載されます。

また、トゥールビヨンの細やかな動きもご覧いただけます。

さらにこのタイムピースは、時、クォーター、分をそれぞれに鳴らすミニッツリピーターを含む、18の機能と複雑機構を搭載しています。ケースを除いて758もの部品数から構成されているにもかかわらず、直径44mm、ケース高13,80mmという驚異的なサイズに収まっています。この作品は年間僅か数本しか製作できないため、受注生産となります

技術仕様_アストロノミック・スヴラン

ムーブメント_	キャリバー 1619 手巻き(全巻きにはリユーズを34回転) 18Kローズゴールド製ムーブメント
ムーブメントのサイズ_	ムーブメント直径： 37.00 mm ケーシング直径： 36.40 mm ムーブメント全高： 9.30 mm 巻き芯までの高さ： 4.59 mm 巻き芯のネジ部分の直径： S1.20 mm
バランスホイール_	4つのイナーシャウエイトが付いたバランスホイール アナクロン フィリップカーブ付ヘアスプリング 固定式ヒゲ持ち受け 緩急針なし ヘアスプリングはヒゲ持ちヘピンによって固定 ヘアスプリングはコレットヘピンによって伝統的に固定 3つのポジションを持つリユーズ 振動数： 21,600 振動/時 (3Hz) 慣性： 11.00 mg・cm ² 拘束角： 52° 振り角： 全巻き上げ水平姿勢: > 260° 24時間後水平姿勢: > 260°
主要な特徴_	ルモントワール機構が付いた60秒トゥールビヨン ミニッツリピーター 恒星時・分 2つのタイムゾーン ムーンフェイズ アニュアルカレンダー 均時差 日の出・日の入りの時間 全ての調整をリユーズで行う
脱進機_	インラインレバー脱進機 - 15歯のガンギ車 90° フォークアンカー
表示_	表側： 3時位置に時針と2つのタイムゾーン針 中心に配置された分針 12時位置に日の出・日の入り 9時位置に恒星時分針 6時位置にパワーリザーブインジケーター 5時位置にムーンフェイズ 7時位置に秒ディスク 裏側： 中心に均時差 10時位置にアニュアルカレンダー
パワーリザーブ_	40h
装飾_	仕上げを施したブリッジ 仕上げを施したベースプレート ネジは面取り、及び先端は研磨仕上げ ピンの先端を球場に研磨仕上げ
ケース_	ステンレススティール製 - 直径： 44 mm ケース全高： 13.80 mm
部品点数_	文字盤を除いたムーブメント単体： 758 ケースにストラップを付けた状態： 817 石数： 68